

みんなの本だな



バナナのはなし

及川賢治／絵 伊沢尚子／文
福音館書店 [E/オ]



バナナをれいぞうこで1週間ひやすと、黄色い皮が黒くなっていました。なぜでしょうか。
バナナはあつくて、雨がたくさんふるところで育ちます。葉の間からむらさき色のふくらみがあらわれ、そのうちがわに白い花びらがみえてきて…。バナナがどのように育つのかよく分かります。

こぶじいさま

松居直／再話 赤羽末吉／画
福音館書店 [E/ア]



あるところに、おでこに大きなこぶのあるおじいさんがいました。ある日、おじいさんは山へ木を切りに行き、おにと出会います。そこでおじいさんは、おにに気に入られて、こぶを取ってもらいました。その話を聞いたとなりの家のおじいさんも、こぶを取ってもらおうと山へでかけました。

くんちゃんのはじめてのがっこう マリノ／作 まさきりこ／訳 ペンギン社 [E/マ]



こぐまのくんちゃんは、きょうから1年生です。学校に行けるのがとてもうれしいくんちゃんは、おかあさんと、はりきって出かけて行きました。学校についたくんちゃんは、先生と教室に向かいました。けれども、おかあさんと別れたくんちゃんは、急にさみしくなってきました。



ぷぷふうプウタは一年生

神沢利子／作 久本直子／絵
講談社 [913/カ]



こぶたのプウタは、こぶた小学校の一年生です。同じクラスのトンパイくんは、クラスで一番の力持ち。トンコちゃんはうたが上手で、プウキチくんはもの知りはかせです。でも、プウタは得意なことがひとつもありません。ところがある日、プウタはみんなの前でてつぼうをしてみせることになってしまいました。



なぞのかみきれをおえ！

シャーマット／文 シーモント／絵
小宮由／訳 大日本図書 [933/シ]



ネートは、さまざまなじけんを、みごとなすいりでかいけつするめいたんていです。ある朝、ネートの家のげんかんに、なぞの紙きれがおちていました。紙きれには「うたい」と書いてあって、もじのまわりがやぶられています。ネートは手がかりをさがしてそうさをはじめました。



ぐりとぐらのあいうえお

なかがわりえこ／作
やまわきゆりこ／絵 福音館書店 [E/ヤ]



「あさ いもほり うでまくり
えんやらやっど おおきなおいも」
「あ」から「ん」までを文のあたまにおいた、詩の絵本です。絵といっしょに、リズムにのって楽しくよめます。小さい絵本なので、いろいろなところに持っていきます。

八千代市立 大和田図書館 八千代台図書館
勝田台図書館 緑が丘図書館
(2014.4 発行)